

広島大学 ヒロシマ学

年度	2006 年度			
科目区分	総合科目			
授業科目名	ヒロシマ学			
英文授業科目名	Hiroshima Studies			
担当教員名	布川 弘			
開講部局	教養教育			
開講キャンパス	東広島			
授業の形式	講義	単位	2	週時間 2
開設期(開講期)	1 年次生 前期(1 セメ スター)	講義室	総 K211	
曜日時限	月 3時限,4時限			
授業の概要	「ヒロシマ」とは何か。その意味を多方面から考える。			
授業のキーワード	原爆 ヒロシマ 被爆者 平和			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションーヒロシマとは(布川 弘)</li> <li>2. 原爆被爆体験を語る(久保浦寛人先生;原爆被爆者証言のつどい)</li> <li>3. 原爆の人体への影響(神谷研二先生;広島大学原爆放射線医学研究所)</li> <li>4. 韓国人被爆者・在外被爆者(豊永恵三郎先生;韓国の原爆被害者を救援する会)</li> <li>5. 外国から見た原爆による爆撃(P.A.ゴールズベリ先生;広島大学総合科学部)</li> <li>6. 初期核開発史研究から:マンハッタン計画の実像1(市川浩;広島大学総合科学部)</li> <li>7. " 2( " )</li> <li>8. 平和学をどう学ぶか(岡本三夫先生;広島修道大学)</li> <li>9. 文学作品にみるヒロシマ(植木研介先生;広島大学大学院文学研究科)</li> <li>10. 原爆による爆撃とその責任ー歴史的視点から(布川 弘)</li> <li>11. "</li> <li>12. 原爆被害からの復興(布川 弘)</li> <li>13. ヒロシマの課題(田中聡司先生;中国新聞社)</li> <li>14. まとめ(布川 弘)</li> <li>15. ディスカッション</li> <li>16. 試験(布川 弘)</li> <li>16. 試験</li> </ol>			

<p style="text-align: center;"><b>予習・復習への アドバイス</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カタカナの「ヒロシマ」とは何か、考えてみる。</li> <li>2. 被爆の体験を聞いて、特に印象に残った部分を書き出してみる。</li> <li>3. ヒト・ゲノムの不思議なはたらきと原爆の関係について、しっかり把握する。</li> <li>4. 在外被爆者がおかれた状況について整理してみる。</li> <li>5. 原爆投下について日本人以外の人々の意見をしっかり把握する。</li> <li>6. 核爆発を科学的にとらえてみる。</li> <li>7. 原爆開発に見られる技術的な問題点を整理してみる。</li> <li>8. 平和学の多様性を把握する。</li> <li>9. 文学が描いたヒロシマに触れ、自分で詩を朗読してみる。</li> <li>10. 原爆投下の残虐性の意味をしっかりと考えてみる。</li> <li>11. 原爆投下を正当化する根拠を見つめてみる。</li> <li>12. 広島復興過程がどのような特徴をもっていたのか、整理してみる。</li> <li>13. 未来に発するヒロシマからメッセージを考えてみる。</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. ディスカッション</li> </ol>
<p style="text-align: center;"><b>授業内容を理解する ために読むべき テキスト等</b></p>	<p>講義形式(講義中心;プリント、講義レジュメを配布) 使用する視聴覚教材の種類(ビデオ・DVD・パワーポイント等)</p>
<p style="text-align: center;"><b>メッセージ</b></p>	<p>「平和を希求する精神」は、広島大学の理念です。</p>